

番号 (都道府県順)	応募者名 (建築主等)	応募者名 (協議会運営者)	応募事業名	実証の種類	CLTの主な使用方法	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
1	飯能商工会議所 会頭 矢島 巖	同左	飯能商工会議所 会館建設工事の 建築実証	建築、設 計、性能	構造体	CLTパネルと地域材である西川材のスギ・ヒノキの製材とを適材適所に組合せ、新旧の木質構造技術を融合した先進的な構造計画を実証する。協議会において、CLTパネルの在来工法への汎用性や仕上げとしての活用性(意匠性)、中規模木造事務所の防耐火計画について議論し、木材利用を促進する地産地消型のサステナブルな建築物を計画する。	実証建築物の建築費について、同規模のRC造建物と比較し、CLT使用メリット、コスト削減とCO2削減に寄与する工事内容について検証する。構造体現しを前提とし、仕上げとしてCLTパネルを活用すること、また在来工法との融合により地元大工の施工参加が可能であることにより、他工法と遜色のない価格の実現が可能と考えている。	埼玉県飯能市	用途:事務所 構造:木造軸組構法+CLTラス+CLT折板床(ルート1) 階数:2階建て 延べ面積:738.14㎡ 工事種別:新築 竣工予定:2020年2月	飯能商工会議所 浅見国昭
2	三菱地所株式会社 執行役社長 吉田 淳一	同左	(仮称)CLT晴海 プロジェクト新築 工事の建築実証	建築	構造体	木造(CLT造)+鉄骨造の混構造として設計されたハビリオン棟の建設を行う。当初は東京都中央区晴海に建設し、その後解体し岡山県真庭市に移築する。 鉄骨とCLTの接合については解体移築が容易となる仕様とし、かつ工期短縮、コスト削減が可能な施工方法を実証する。	純鉄骨造に対して木質系外装材を仕上材として後貼りする従来の工法に対して、CLT材を構造材とし、かつ現し仕上材として利用することにより、工期短縮、コスト削減、解体移設が容易になる事が予想される。それぞれを比較する資料を作成し、CLT材使用の優位性を検証する。	東京都中央区	用途:展示場 構造:鉄骨造+CLT梁(ルート2) 階数:平屋建て 延べ面積:602㎡ 工事種別:新築 竣工予定:2019年9月	三菱地所株式会社 住宅業務企画部 河野 義浩
3	株式会社中東 代表取締役社長 小坂勇治	同左	(株)中東 CLT・ 集成材組立工場 新築工事の建築 実証	建築、設 計、性能	構造体	以前実施の高さ4mのCLT耐震壁実証では、接合部にLアングル等を用い、金物費と取付手間が課題となった。そこで本事業では、協議会にて施工性の良い新たな接合部の納まり等を議論し、施工効率化、省力化及びコスト削減に寄与する工事内容を検証する。併せてCLTの梁材(I型ビーム)を用い、CLT活用範囲拡大の為の検証も行う。	以前の実証にてCLTは木材費に比べ、加工、金物、取付に要する費用が大きい傾向にあった。そのため、本事業でCLTの加工・金物・取付費のコスト縮減を図ることで、より競争力のあるCLT大規模建築物として、他工法との総コスト(人代含む)及び工期の比較・分析が可能となる。CLTの加工・金物・取付方法の改善により、他工法と同程度の価格を実現できると考えている。	石川県能美市岩内町	用途:工場 構造:木造軸組構法+CLT耐震壁(ルート1) 階数:平屋建て 延べ面積:1900.80㎡ 工事種別:新築 竣工予定:2020年2月	イエコロ 二村 真弓子
4	日ノ丸産業 株式 会社 代表取締役社長 森下 明男	株式会社 白兎 設計事務所 代表取締役社長 霜村 将博	日ノ丸産業本 社社屋建替工 事の建築実証	建築、設 計	構造体	協議会において、CLTの使用場所及び使用方法について議論し、汎用性、低コスト性を検討する。実証建築物の建築費は、同規模のS造建物と比較し、CLT使用メリット、コスト削減に寄与する工事内容について検証する。	他工法での類似の用途・規模の建築物の施工実績が豊富であり、本事業ではCLTを用いた建築物とS造で建築した場合について、総コスト、工期、人工等を比較する。また、本事業における材料調達、施工工程・手法等の課題の分析も行う。	鳥取県鳥取市	用途:事務所 構造:(1F RC+)木造ラーメン+CLT床・天井(ルート2 or 3) 階数:5階建て 延べ面積:約1680㎡ 工事種別:新築 竣工予定:2020年2月	株式会社 白兎 設計事務所 第 二企画設計監理 部 菅原 大介

番号 (都道府県順)	応募者名 (建築主等)	応募者名 (協議会運営者)	応募事業名	実証の種類	CLTの主な使用方法	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
5	勝央町 町長 水嶋 淳治	ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社 代表取締役 赤星 輝明	JR勝間田駅舎新築工事の建築実証	建築	構造体、部位・部品(内装仕上)	屋内空間を構成する範囲では、CLTパネル同士の曲げ抵抗型接合部の検討により、CLTパネルを用いた薄肉ラーメン構造の実用性を検証する。また、屋外バーゴラの範囲では、CLTパネルと集成材を合成したT型フレームを採用し、合理的な併用構造の利用方法を模索する。	駅舎建築はその施工環境からS造が一般的であるが、昨今、本件のような小規模駅舎においては木造が求められる場合が多い。そこで、CLTを主たる構造に用いた場合と、在来木造とした場合について、コストや工期、鉄道近接工事における安全性等を比較するとともに、他駅舎への普及、応用を前提とした材料調達、施工工程等の課題を分析することが可能である。	岡山県勝田郡勝央町	用途:駅舎 構造:CLTパネル工法(ルト2) 階数:平屋建て 延べ面積:98.00㎡ 工事種別:新築 竣工予定:2020年3月	ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社 建築設計本部 玉石 勇
6	大和興業株式会社 代表取締役 梅尾 裕一	有限会社 阪根宏彦計画設計事務所 代表取締役 阪根 宏彦	大和ビル新社屋新築工事の設計・性能実証	設計、性能	構造体、部位・部品(耐震壁接合等)	S造とCLTの大板(マザーボード)によるハイブリット構法を設計検証する。4層のCLT+S造フレームに大板CLT耐震壁(セットバック/並行配置)と大板CLT床パネル構法で、総合的な建築コスト低減効果を軸に、建設の合理性から設計し、その耐震壁と床の性能を実証する。地域建設会社による自力施工を促し、従来コスト高で乖離しやすい先端性と普及性に対し、工事費削減を進める。S造+CLT大板耐震壁/床パネル構法による中層建築の普及を目指す。	先端事例の5層、CLT+鉄骨ハイブリッド構造を分析・熟知し、鉄骨フレームにセットインする耐震壁を、新構法ではセットバックの並行配置することで、金物の簡素化と工期の短縮を実現できる。ここで、提案のCLTの大板(マザーボード)によるハイブリット構法は建方の大幅な縮減が想定できる。さらに、CLTの大板床リブパネルは、デッキ複合スラブは言うに及ばず、ALC床+鉄骨造等とのコスト比較を設計実証し、国内へのCLT床パネルの拡大・普及を目指す。	福岡県飯塚市	用途:事務所 構造:鉄骨造+CLT耐震壁(ルト3) 階数:5階建て 延べ面積:1310㎡ 工事種別:新築 竣工予定:2021年2月	有限会社 阪根宏彦計画設計事務所 阪根宏彦